

# 京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進会議 開催結果

## 1 開催概要

- (1) 日 時 平成20年10月30日(木曜日) 13時30分～16時00分
- (2) 場 所 京都商工会議所 講堂(京都市中京区)
- (3) 目 的 産業界・処理業界・行政等が一堂に会して、産業廃棄物の減量・リサイクルに関する各業界の課題・情報の共有化を図るとともに、各業界のネットワークづくりの第一歩とするためシンポジウム「京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進会議」を開催

## 2 参加者数 230名

## 3 議 事

- (1) 基 調 講 演  
講 師 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 産業廃棄物課長 坂川勉氏  
テーマ 「産業廃棄物の減量・リサイクルに関する現状と課題」
- (2) 講 演：産業界での減量・リサイクルの取組事例  
講 師 (株)ジーエス・ユアサ コーポレーション環境統括部担当部長 長畑和典氏  
講 師 NPO 法人 KES 環境機構 専務理事 津村昭夫氏
- (3) パネルディスカッション  
テーマ 「産業廃棄物の安心安全な減量・リサイクルを推進していくための各業界の役割について」  
コーディネーター 占部 武生先生(龍谷大学 理工学部 教授)  
パネリスト 浦野 新一氏(日新電機(株)ものづくり支援部 環境管理グループ長)  
富田 亮二氏(福田金属箔粉工業(株)生産本部 調査役)  
岩田 隆 氏((社)京都府産業廃棄物協会 専務理事)  
檀野 恭介氏(株)京都環境保全公社 常務取締役営業部長)  
越智 広志 (京都府文化環境部 循環型社会推進課長)

## 4 議事内容(詳細は別紙参照)

- (1) 基 調 講 演
  - ・国内における産業廃棄物の状況及び課題、それらに対応するために国が行ってきた廃棄物政策の変遷、廃棄物処理の構造改革を目的とした法律改正等の経過について紹介。
  - ・また、第二次循環型社会形成推進基本計画の実行や3Rの国際的な取組を推進していくことの重要性を説明。
  - ・今後も産業廃棄物分野での構造改革を推進し適正処理を図る一方で、法の施行状況についても点検し、必要に応じて総合的な対策を検討していくと述べられた。
- (2) 講 演
  - ・大企業・中小企業のそれぞれの立場から、これまでに行ってきた産業廃棄物の減量・リサイクルに係る取組事例を紹介。
  - ・事例の中には、廃棄物の減量・リサイクルの取組を実行することにより、年間で400万円のコスト削減した事例や、3,500万円のコスト削減した事例が紹介された。

### (3) パネルディスカッション

- ・「情報」と「連携」をキーワードとして、排出事業者、処理業者、行政それぞれの立場から、具体的な現状と課題について言及。そして、各業界が行っていきべき、あるいは期待される役割や連携像について議論された。
- ・情報については、排出事業者、処理業者ともに不足しており、各業界の必要とする情報をすり合わせる場の必要性に関する意見が出された。
- ・連携像については、排出事業者と処理業者等との情報交換や連携が不可欠であり、ネットワークづくりのためさらに行政支援をお願いしたいという意見や、どこまで行政が関与すべきなのかという意見が出された。
- ・この他、排出事業者責任の認識の向上や、処理業者のレベルアップに関する意見が各業界から共通して出された。

## 6 参加者アンケート結果

### 【シンポジウム全般への意見】

- ・今回のシンポジウムは産廃の現状と情報伝達の間として大変有効であり、また開催してもらいたい。
- ・具体的な減量リサイクル事例やゼロエミッションに取り組まれている企業の事例を、今後も紹介してもらいたい。
- ・このようなパネルディスカッションを今後も続けてもらいたい。
- ・このようなイベントを行う際は、実際に排出事業者と処理業者が交流ができるスペースを設けてほしい。
- ・北部でもこのようなシンポジウムを開催して欲しい。
- ・製造業者・排出者・処理業者の情報交換を密にすることで、リサイクルが促進される余地があると感じた。
- ・処理についての情報交換が不足のため、リサイクルの推進・産廃の減量がスムーズなものにならないことがわかった。これから排出業者・処理業者の提案を近づけることが課題と感じた。

### 【情報提供・相談窓口の設置場所に関する設問結果】

これらサービスの設置場所に関する問いでは、行政：処理業界：産業界＝5：3：3であり、今後も各業界の連携を図る中で議論が必要であると感じられた。

## 7 関連新聞等記事

- ・H20. 10. 20 循環経済新聞
- ・H20. 10. 27 日刊工業新聞
- ・H20. 10. 30 時事通信

※この他、シンポジウム開催にあたり、9団体以上のホームページやメールマガジン等でも開催案内されました。

## 8 主催 京都府，京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進ネットワーク協議会

## 9 後援 環境省近畿地方環境事務所，京都市，京都商工会議所，（社）京都工業会，（社）京都府産業廃棄物協会